

今月号は、園生雅弘先生の企画のもとに特集として「一般内科疾患に伴う脊髄障害」が取り上げられた。われわれ外科医にとって、腫瘍性髄内病変との鑑別に際して常に頭を悩まされる諸病変について、きわめて有用な論文が集められており優れた特集号となっている。Biopsyに踏み切るかどうかを判断する際に常に読み直すべき論文集であり、資すること大の特集をつくり上げていただいた園生先生・著者の方々に御礼を申し上げる。

さて、このたび16年間にわたって勤めてきた本誌の編集委員を退任することとなった。長いようで、終わってみればついこの前にこの大役を引き受けたような気分も残っている。本「脊椎脊髄ジャーナル」は脊椎・脊髄外科分野において確固たる地位を占めており、私の働きなど微々たるものであったが、評価の高い本誌の編集委員を勤めさせていただいたことを誇りに思っている。本誌の編集委員会は複数科の委員から構成されており、以前には必ずしも各科の委員間の交流はなく、名ばかりの合同編集委員会であったと聞き及んでいたが、私が在籍した期間では編集委員同士の意見交換も盛んで、共同作業もスムーズに運営されていたと思う。多数の分野の人々により成り立っている委員会では、構成員がお互いに相手をrespectしていることが最低限必要なことであり、かつ最も重要なことであると思う。整形外科出身の編集委員で、現編集委員長である戸山芳昭先生には、22年ほど前に先生がまだ慶應義塾大学のいちばん若手の助手をしておられたときに、私が主催した小さな研究会にて髄内腫瘍の講演をしていただいたことがあった。本誌編集委員会などで毎年お会いするようになり、先生と緊密なコンタクトが取れるようになったことは誠に嬉しいことであった。現在、日本脊椎脊髄病学会と日本脊髄外科学会との間で、日本専門医機構の下での共通の専門医制度の策定作業が進められている。この方策の開始にあたっては、戸山先生と協議を繰り返した。両科に共通の制度の設立という困難に思われた作業が完成に近づきつつあるのも、本編集委員会を通じての先生との信頼関係が根本にあったおかげであると感謝している。

本誌は、脊髄・脊椎・末梢神経に関係する分野を網羅的に取り上げており、テーマが繰り返されることも多いが、その都度、時代の最先端の知見が加えられており、若い筆者の発掘にも常に心を配ってきた。今後とも、本誌がこの分野で果たす役割は大であり、後に続く編集者諸氏・筆者諸氏および読者諸氏のますますの貢献を期待している。

(花北順哉)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

戸山芳昭 (編集委員長)
青木茂樹 安藤哲朗 金 彪
園生雅弘 高安正和 田口敏彦
谷 論 徳橋泰明 花北順哉
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志
米延策雄

Vol. 29 No. 2

(2016年2月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,300円+税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 30,700円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2015,
Printed in Japan

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。